



蔭涼寺の桜

第6号

2013年春 発行 第6号

和泉観光ボランティアクラブ

〒594-0041 和泉市いぶき野五丁目1-1

泉北高速鉄道と泉中央駅構内

TEL/FAX 0725(56)5200

E-Mail : bwz11423@nifty.com

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/kankou-izumi/>

コダイくんとロマンちゃん

池上曾根遺跡が発掘された衝撃で、2000年前に栄えた「イズミ国」から、現代の和泉市にタイムスリップしてしまいました。

HPから一部引用しました。
是非HPもご覧ください。

府中駅前商店街は、繊維業跡地の開発から半世紀が経過し、他の市と同様に開かずのシャッターが増えてきました。駅前商店街が活性化することが市の活性化に繋がると、役所も商店街も力を入れ『にぎやかさ』を取り戻そうとしています。

『レトロな昭和の雰囲気』をコンセプトに再興を計りたいと握りこぶしに力を入れる店主の皆さん…ブランドの開発に力を入れている仲間も集まりました。

小林旭の遠き昭和の…歌ではないけれど、…「まぶしい時代」を取り戻したい！と心の底からそう思う。

地産地消のサイクルを大きく育て、市外にも打って出て、培った文化も産業も、開拓したブランドも…丸ごとまとめて発信している…コダイ君とロマンちゃんに後れをとらないよう…しっかりとついて行かなくては…

イズミ国第133代の王様の三男で愛の戦士。かつての「まぶしい時代」を取り戻すために参上しました

イズミ国の清らかな水を司る巫女
豊穣を願ってロマンの手に稲穂、
繁栄を願ってコダイの手には銅剣を

コダイくんとロマンちゃんのつぶやき…

『私たち、生まれも育ちもイズミの池上曾根史跡…！』弥生の温泉で産湯をつかい、弥生の高殿から眺める景色…春はさくらに菜の花盛り…夏は赤い夕陽に恋をして…秋の稲穂で冠作り…冬の白い世界に過ぎし遠い日を夢見つつ！一昨年は花園ラグビー場でお披露目し…NHKラジオやテレビデビューするなど、忙しかった昨年は、和泉中央駅で観ボラスタッフと一緒に出演しました。

陸の玄関・大阪駅や難波駅/堺東駅…での『出発進行！』空の玄関・関空では『イラッシャア～イ！』と外国からのお客様をお出迎え！年が明けて今年に入り「なんぼグランド花月」で生出演。

『早く来てくれ寂しいよ！』とおっしゃる方もございますが『泣くんじゃねえ！ 幸せ売りが二人の心よ！ しばしお待ちあれ！』…

おかげさまで…人気ランキングもウナギのぼり。大阪8位は出来過ぎでっしゃるか？



春に向かってダッシュ！

『ツン・ツン・ツン・ツン・ツン〜ドコ！・・・』過年バラエティー番組でございました『八時だよ！全員集合！』でもございません！『ツンツン！ツンドコ・・・』赤い夕陽を背に長い脚を伸ばしガニマタで歌っておりました小林・・・何とかさんの歌でもございません。

春というには未だ早い1月。

JR府中駅前広場に繰り広げられた「和泉府中地区商店街・地域活性化チャレンジイベント」～私を表現できる街 It' Me (いずみい) フェスタ～のイベント「和泉太鼓 鼓聖泉」のみなさんによる、元気あふれるバチさばきでした。なんと申しましても一番は、溢れるばかりの笑顔でした！

思わず『よかったよ～！』と蛮声張り上げてしまいましたが皆さんの微笑み、ほほえみの輪が広がり、春はすぐそこでした。

地域活性化チャレンジの今後の展開に大いに期待しつつ、観ボラも和泉市の春に向かって活動を続けます。
Osaka とらさん！



ハア～イ 春です！ 和泉リサイクル環境公園

この公園は、産業廃棄物の埋立て処分場の跡地を利用して作られた環境にやさしい憩いの場として1999年4月29日「みどりの日」にオープンしました。

和泉中央駅から東へ約5Km、納花町の丘陵に広がる約2万坪の敷地に「花と緑の農園」と「野球、サッカーなど多目的に使用できるグラウンド」があります。

農園の特徴は、花の育成に必要な肥料は有機、無農薬を基本とし、廃棄物の大豆かすや木材チップを堆肥にして活用し環境にやさしいエコ・ファーム Eco Farm です。広々としたお花畑を散策し四季折々の草花を楽しむことができます。

春は、雅な枝垂れ紅梅(約80本)や清らかな日本水仙(約5万本)が自生する「梅と水仙の丘」がお薦めです。早春の風薫る静かな梅林で心安らかな一時を味わって下さい。

今年の見ごろは、2月中旬～3月下旬です。

さあ～、お友達やご家族でお出かけ下さい。

お天気の日、ウォーキングで？ サイクリングで？ 勿論、車の方は無料駐車場完備です。

来年はぜひ計画してください。

(写真は2012年3月撮影)



(Tanny 記)

桜の花が日本人に愛されるのは、束の間の時期を

豪華絢爛に咲き、潔く散ることにあるのでしょうか？



新聞の「桜だより」には載らないが、和泉市内にも見事な桜の名所がある。
身近には一人ひとりの、お気に入りの桜の名所が…

桜を愛でながら北信太駅から信太山駅を
歩いてみませんか…

- ① JR 北信太駅
- ② 道田池古墳群（鶴山台2号公園）
- ③ 鶴山台児童公園
- ④ 志保池公園（須恵器窯跡）
- ⑤ 鶴山台団地桜並木（信太中学校前）
- ⑥ 鶴山台西グラウンド（信太中学校前）
- ⑦ 信太の森ふるさと館
- ⑧ 惣ヶ池公園（惣ヶ池遺跡）
- ⑨ 蔭涼寺
- ⑩ 黒鳥山公園



⇒ JR 信太山駅へ

昭和の大横綱・大鵬親方が和泉市で大鵬部屋を…

昭和の大横綱・大鵬親方が1月19日に、突然亡くなりました。

高度成長期の日本国民に勇気を与え、品格と礼節の心を大切にされた親方は、和泉市の風土と人情を好んで大阪場所の大鵬部屋を和泉市阪本町に置いていました。大鵬道場と呼ばれていました。

場所が始まると、マスコミ関係者や他の部屋からの出稽古等の力士でにぎわい、活気づいていました。やさしいお人柄の親方は早朝から始まる稽古を快く見せてくださいました。厳しい稽古を見つめる凛とした親方の、あのお姿が感動的によみがえってきます。

街頭の白黒テレビに集まった沢山の人達と大鵬・柏戸戦を観た…ひとつの昭和が遠くなり、私たちの思い出と、ひっそりたたずむ稽古道場が残りました。周りに植えられた桜や草木は時期が来ると、あの頃と同じように咲いてくれます。

執筆中に国民栄誉賞受賞の報に接し、もう少し早ければ…と思わずにはいられませんでした。

和泉市を訪れてくださる方々に思い出ばなしを語って差し上げたいと思っています。

ひとつの昭和に想いを馳せる観ボラ・二期生



国学の祖 契沖

和泉の国に10年間滞在

観ボラの一月期の研修テーマは江戸時代前期の国学者『契沖』だった。養寿庵跡がある事から、講師の榎本多加夫先生（堺の郷土史家）が課題にしてくれたのであろう！

契沖は高野山で得度し、久井村の辻森家（→辻井家）と万町伏屋氏に10年間寄寓し、両家の古典蔵書、記紀から万葉集等の研究に没頭した。仏教にも通じる氏は独自の国家論を確立し、その後の国学に寄与したことを榎本先生は詳細な彼の生涯や著作で語ってくれた。最後には貴重な財産を残すような運動はできないものか？観ボラに自律的で自主的なボランティア活動を宿題として先生の講義は終了した。

土塀と竹藪に包まれた静寂な雰囲気のところ、勉強に勤しむ姿は貧乏人には想像もつかないのどかさか。釈迦王子が瞑想を重ねた後、悟りを開いた涅槃風景を思うは、我一人か！



万町の伏屋氏の養寿庵土塀跡

次の日、TさんとEさんと3人で現状調査に行き写真をとりました。高橋さん宅に出向き15分ほど



万町の伏屋氏の養寿庵跡

見せてくださいと観ボラの証明書を見せて私は時間厳守で終了させましたが、近世学者のTさんとEさんは竹藪に入ったまま出てきませんでした。大声で何度も呼ぶのですが音沙汰無、池田川の河童に引き込まれたか？かぐや姫にでもなったのか？と心配しましたが落ち着き払った二面観音は自力で藪から出てきました。万町養寿庵以外にも石尾中学前に国学発祥之地碑、契沖が愛用したという久井町井戸跡があります。

鳥地獄 鳥には毒水！人には霊水 （マイナーな観光スポット）

「諸鳥、この泉を飲ば、則、死すとなん」と和泉名所図会で書かれた鳥地獄は、「和泉市歴史文化財めぐり」の冊子の中にもありました。

一度は見ておきたいと仲間と南面利へ出かけました。

外環を旧道に入り国華園を通り過ぎ、河内長野市境界前の右に立つ小さな地藏堂の手前を地道に入ります。車を降り少し歩くと民家があり側をすり抜け、階段を上りきると小高い山の上に出ました。山神さまの大きな石碑と薬師仏の堂。その間に茶色い小さな泉がありました。



これが鳥地獄です。泉の底からは、あちらこちらと気泡が吹き出しています。湯気はなく、冷泉です。帰りに民家の方が話してくださったのは、昔はもっと木々がうっそうとしていてガスがこもっていたので、水を飲むために降りてきた鳥が、死んだのではないかということですが「日本伝説・和泉の巻」ではこの湧水で入浴すると病気はたちまちに治ったとも記されています。～鳥が飲めば毒水！人が使えば霊水！神仏も無慈悲なことを～

金網に囲まれた炭酸泉は大昔から、そのままを今に引継ぎ未来をも見続けながら、これからも神泉の役目を果たすことでしょう。民家の前にある神様仏様に手を合わせながら帰途に就きました。

編集後記 装いを新たに5号を発行して、クラブ員が活動しているサークルや市内各所の施設に配らせていただきました。飛び込みで置いていただいたお好み焼き屋さんではあつという間になくなったとのことでした。和泉市内だけでなく、市外の施設でも歓迎していただきました。

24年度は和泉中央駅構内観光情報ステーションに加えて和泉府中駅前観光情報ステーションの運営委託を受けるなど、変化の兆しが見え始めました。

「観ボラだより」での発信力も育ち始めました。

観ボラだより編集委員会